



## 2019年5月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年7月12日

上場会社名 株式会社フィードフォース 上場取引所 東  
 コード番号 7068 URL <https://www.feedforce.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 耕司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 西山 真吾 TEL 03-5846-7016  
 定時株主総会開催予定日 2019年8月28日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2019年8月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年5月期の業績（2018年6月1日～2019年5月31日）

#### （1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期	700	24.5	45	—	34	—	43	—
2018年5月期	562	—	△25	—	△28	—	△28	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年5月期	8.77	—	57.2	8.5	6.6
2018年5月期	△5.84	—	△42.1	△7.4	△4.6

（参考）持分法投資損益 2019年5月期 ー百万円 2018年5月期 ー百万円

（注）1. 2019年1月10日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っており、1株当たり当期純利益は、2018年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した期中平均株式数を用いて算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期	470	97	20.7	19.73
2018年5月期	345	54	15.7	10.96

（参考）自己資本 2019年5月期 97百万円 2018年5月期 54百万円

（注）当社は、2019年1月10日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

#### （3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年5月期	△8	△7	11	180
2018年5月期	△21	△0	△35	183

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2019年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2020年5月期の業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	989	41.3	235	413.5	232	565.0	161	271.3	29.09

（注）当社は売上高、利益ともに下期に偏重する傾向があるため、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年5月期	4,943,400株	2018年5月期	4,943,400株
② 期末自己株式数	2019年5月期	一株	2018年5月期	一株
③ 期中平均株式数	2019年5月期	4,943,400株	2018年5月期	4,943,400株

(注) 2019年1月10日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2018年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(持分法損益等) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国の経済は、企業業績及び雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移したものの、海外においては、米国の貿易政策等による不確実性の高まりにより、景気の先行きについては不透明な状況となっております。その一方で、当社の主要な事業領域であるインターネット広告市場は、利用者の増加や端末の普及に加え、企業等の活動におけるインターネットの利用増加により急速に拡大を続けてまいりました。

このような経済状況のもと、当社では、「『働く』を豊かにする。～B2B領域でイノベーションを起こし続ける～」をミッションに掲げ、情報流通の最適化と効果的な広告運用サービス等を提供してきました。データフィード構築のために当社がこれまでに蓄積した膨大な商品・案件等のデータとその変換・更新ノウハウをもとに、企業が持つ情報を最適な形に加工し、ターゲットユーザーに対して適切な情報を適切なタイミングで適切なデバイスに提供することを実現してまいりました。また、当社は各デジタルプラットフォーマーと良好なリレーションを構築しており、その関係を活かし当社の複数のサービスを連携させることで、企業の顧客開拓支援に留まらずユーザーとの継続的な関係強化に資する包括的な支援に努めてまいりました。営業面においては、人員数及び組織的な管理体制の両面で強化を行い、新規取引先の開拓等の事業展開に対する販売促進活動に注力してまいりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高700,133千円（前年同期比24.5%増）、営業利益45,861千円（前事業年度は営業損失25,628千円）となりました。また、営業外費用として上場関連費用6,000千円及び株式交付費2,734千円を計上したことにより経常利益34,889千円（前事業年度は経常損失28,244千円）、繰延税金資産計上に伴う法人税等調整額15,149千円を貸方計上したこと等により当期純利益43,367千円（前事業年度は当期純損失28,868千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(プロフェッショナルサービス事業)

主として大企業を中心とした顧客に対して、個々のニーズに応じたデータフィードの構築やプラットフォームへの広告配信受託を行っております。

当事業年度の業績は、第3四半期以降において「Feedmatic」の新規案件の増加及び既存案件の広告運用額の増加に伴う増収基調が継続したものの、「Contents Feeder」の解約があったこと等により、売上高399,845千円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益111,908千円（前年同期比19.4%減）となりました。なお、各サービスの売上高は以下のとおりであります。

DF PLUS	174,679千円（前年同期比1.7%減）
Feedmatic	188,617千円（前年同期比9.8%増）
その他	36,548千円（前年同期比28.9%減）

(SaaS事業)

SaaS型での広告データ最適化サービス及び広告自動出稿サービス、SNS登録情報を利用したWebの会員登録・ログインやダイレクトメッセージ送信による顧客リーチのサポートサービスを提供しております。

当事業年度の業績は、各サービスそれぞれが順調に新規案件の獲得及び売上単価の増加による売上げの積み上げができたことにより、売上高300,287千円（前年同期比86.3%増）、セグメント損失66,046千円（前事業年度はセグメント損失164,478千円）となりました。なお、各サービスの売上高は以下のとおりであります。

dfplus.io	64,367千円（前年同期比172.3%増）
EC Booster	26,894千円（前事業年度は590千円）
ソーシャルPLUS	209,025千円（前年同期比52.6%増）

## (2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は426,466千円となり、前事業年度末に比べ106,015千円増加いたしました。これは主に売掛金が104,657千円増加したことによるものであります。固定資産は44,148千円となり、前事業年度末に比べ18,939千円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が15,149千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、470,615千円となり、前事業年度末に比べ124,954千円増加いたしました。

（負債）

当事業年度末における流動負債は322,318千円となり、前事業年度末に比べ130,249千円増加いたしました。これは主に短期借入金が80,000千円増加したことによるものであります。固定負債は50,761千円となり、前事業年度末に比べ48,663千円減少いたしました。これは長期借入金が48,663千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、373,079千円となり、前事業年度末に比べ81,586千円増加いたしました。

（純資産）

当事業年度末における純資産合計は97,535千円となり、前事業年度末に比べ43,367千円増加いたしました。これは主に当期純利益の計上43,367千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.7%（前事業年度末は15.7%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較し3,453千円減少し、180,305千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは8,012千円の支出（前事業年度は21,103千円の支出）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上34,889千円があり、受注拡大に伴う仕入債務が48,666千円増加した一方で、売上債権が104,657千円増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは7,134千円の支出（前事業年度は951千円の支出）となりました。これは主に、敷金の差入による支出6,249千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、11,694千円の収入（前事業年度は35,716千円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済による支出が68,306千円あった一方、短期借入金の増加が80,000千円あったことによるものであります。

（4）今後の見通し

当社は、今後も既存サービスの積極的な営業展開や機能開発に加え、新サービスの開発等への投資を行っていく方針であり、特にSaaS事業セグメントの各サービスにおいて着実な売上拡大を見込んでおります。

このため、2020年5月期の業績は、売上高989百万円、営業利益235百万円、経常利益232百万円、当期純利益161百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当事業年度 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	183,758	180,305
売掛金	133,176	237,834
前払費用	2,368	2,872
その他	1,927	7,438
貸倒引当金	△779	△1,984
流動資産合計	320,451	426,466
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,462	5,497
工具、器具及び備品(純額)	3,505	3,040
有形固定資産合計	9,968	8,537
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	4,652	4,134
敷金	10,578	16,317
繰延税金資産	—	15,149
投資その他の資産合計	15,241	35,611
固定資産合計	25,209	44,148
資産合計	345,660	470,615

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当事業年度 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	65,459	114,125
短期借入金	—	80,000
1年内返済予定の長期借入金	41,556	21,913
未払金	2,241	8,439
未払費用	20,525	29,881
未払法人税等	194	6,764
未払消費税等	34,364	28,139
前受金	—	1,296
預り金	7,188	5,400
賞与引当金	20,539	26,359
流動負債合計	192,068	322,318
固定負債		
長期借入金	99,424	50,761
固定負債合計	99,424	50,761
負債合計	291,492	373,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	89,808	89,808
資本剰余金合計	89,808	89,808
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△135,640	△92,272
利益剰余金合計	△135,640	△92,272
株主資本合計	54,168	97,535
純資産合計	54,168	97,535
負債純資産合計	345,660	470,615

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
売上高	562,148	700,133
売上原価	244,139	285,930
売上総利益	318,009	414,202
販売費及び一般管理費	343,637	368,341
営業利益又は営業損失(△)	△25,628	45,861
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	—	0
受取損害賠償金	—	353
営業外収益合計	1	356
営業外費用		
支払利息	2,618	2,593
株式交付費	—	2,734
上場関連費用	—	6,000
営業外費用合計	2,618	11,327
経常利益又は経常損失(△)	△28,244	34,889
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△28,244	34,889
法人税、住民税及び事業税	623	6,670
法人税等調整額	—	△15,149
法人税等合計	623	△8,478
当期純利益又は当期純損失(△)	△28,868	43,367

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	100,000	89,808	89,808	△106,772	△106,772	83,036	83,036
当期変動額							
当期純損失(△)				△28,868	△28,868	△28,868	△28,868
当期変動額合計	—	—	—	△28,868	△28,868	△28,868	△28,868
当期末残高	100,000	89,808	89,808	△135,640	△135,640	54,168	54,168

当事業年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	100,000	89,808	89,808	△135,640	△135,640	54,168	54,168
当期変動額							
当期純利益				43,367	43,367	43,367	43,367
当期変動額合計	—	—	—	43,367	43,367	43,367	43,367
当期末残高	100,000	89,808	89,808	△92,272	△92,272	97,535	97,535

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△28,244	34,889
減価償却費	6,432	3,627
賞与引当金の増減額(△は減少)	662	5,820
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,478	1,205
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	2,618	2,593
売上債権の増減額(△は増加)	17,745	△104,657
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,613	48,666
その他	1,052	2,518
小計	△14,827	△5,337
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△4,989	△2,576
法人税等の支払額	△1,287	△100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,103	△8,012
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△951	△885
敷金の差入による支出	—	△6,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△951	△7,134
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	80,000
長期借入れによる収入	70,000	—
長期借入金の返済による支出	△105,716	△68,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,716	11,694
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△57,770	△3,453
現金及び現金同等物の期首残高	241,528	183,758
現金及び現金同等物の期末残高	183,758	180,305

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表 計上額 (注2)
	プロフェッショナル サービス事業	SaaS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	400,944	161,204	562,148	—	562,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	12,645	12,645	△12,645	—
計	400,944	173,849	574,793	△12,645	562,148
セグメント利益又は損失(△)	138,849	△164,478	△25,628	—	△25,628
その他の項目					
減価償却費	2,875	3,557	6,432	—	6,432

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、財務諸表の営業損失と一致しております。

当事業年度(自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	財務諸表 計上額 (注2)
	プロフェッショナル サービス事業	SaaS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	399,845	300,287	700,133	—	700,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37,650	37,650	△37,650	—
計	399,845	337,937	737,783	△37,650	700,133
セグメント利益又は損失(△)	111,908	△66,046	45,861	—	45,861
その他の項目					
減価償却費	1,496	2,131	3,627	—	3,627

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、財務諸表の営業利益と一致しております。

## （1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
1株当たり純資産額	10円96銭	19円73銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△5円84銭	8円77銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2. 当社は、2019年1月10日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	当事業年度 (自 2018年6月1日 至 2019年5月31日)
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△28,868	43,367
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△28,868	43,367
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,943,400	4,943,400
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (新株予約権の2,128個)	新株予約権2種類 (新株予約権の1,824個)

## (重要な後発事象)

## 新株式の発行及び売出し

当社は、2019年7月5日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、当社は、2019年5月31日及び2019年6月18日開催の取締役会において、以下のとおり新株式の発行及び株式売出しについて決議いたしました。また、2019年6月27日に発行価格及び売出価格を以下のとおり決定しております。なお、公募による新株式の発行については、2019年7月4日に払込を受けており、発行済株式総数、資本金及び資本準備金の額が増加しております。

## (1) 公募による新株式の発行

募集株式の種類及び数	普通株式 650,000株
発行価格	1株につき1,150円
引受価額	1株につき1,058円
発行価額の総額	747,500千円
引受価額の総額	687,700千円
増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額 343,850千円 増加した資本準備金の額 343,850千円
払込期日	2019年7月4日
資金の使途	①事業拡大に係る人件費及び人材採用費、②クラウド型ストレージ及びサーバ等の費用並びに情報機器関連購入費、③本社増床に係る設備資金及び賃料、並びに④借入金返済に充当する予定であります。

## (2) 当社株式の売出し(引受人の買取引受による売出し)

売出株式の種類及び数	普通株式 30,100株
売出価格	1株につき1,150円
売出価額の総額	34,615千円
売出株式の所有者及び 売出株式数	塚田 耕司 100株 秋山 勝 30,000株
株式受渡期日	2019年7月5日

## (3) 当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

売出株式の種類及び数	普通株式 101,900株
売出価格	1株につき1,150円
売出価額の総額	117,185千円
売出株式の所有者	大和証券株式会社
株式受渡期日	2019年7月5日